



(1)

白痴の娘

南詩華人

白痴のお光は公園のベンチの傍で背の子をゆする様にしながら、美しい聲で子守唄を歌つてゐた...

お光を頭に四人の子供を抱へた母のお米は女土工となつて毎日の勞働に打ちのめされた様にぐつたりとなつてゐた...

常磐新聞 logo and publication details including price and subscription information.

は仕事から歸つたまゝの姿で臺所から怒鳴つた。『お光のばか、早く歸つて何してるんだ、もう一時外に出て遊んで來い、お光のばか』...

ノート

鐵瓶の金 氣は黒砂 糖を多量 に入れて水を一ぱいにして 長く煮るととれる

お光は蒼い顔をして部屋の隅に小雀の様に小さくなつた、お光は母に怒鳴られる事が一番恐しく又哀しかった。

【朝】すまし汁一里芋 【晝】焼肴一鰹鹽焼 青たうがらし付やき

【晩】胡椒みそあへーなま りぶし わかめ

お光はいつも皆が夕飯をすましてからでなくては家には歸られなかつた、早く歸つて狭い部屋の中であらうくしてゐるといふお米



彩色ある云ひ わけ 一井於紗夢 かりそめの云ひわけにとて

偽形の小石に心はないとても まこと波紋が現はれるのは 感じやすい水だからである

人は紅茶のいつばいに 欲求を認めるか、否か だが自分が期待する様には 人は都合よく認めないだらう

積んだ雪はやがて消える時 天女の思出に涙をたれやう 積んだ空虚な言葉を呪ふと 消しやすいチヨークの跡ではない

地相 家相 人事 定数

八月廿六日甲子三碧赤口定 【白】金談縁談吉兆を得る 日唯我が望事は凶を醸す事 あれは注意【二黒】金銭問題 目上と争論を起すこと勿 ければ不平不満を起すこと勿

れ【三碧】病氣か或は古き事 件てごた／＼するか萬事な れは控目が吉【四緑】吉なれ は我が望事に奔走すべし遠 行して吉利を得れば進んで 吉【五黄】我が望事達せんと して反て凶を醸す日なれば 猛進は凶【六白】病氣怪俄の 心配ある日なれば氣をあせ 俄に注意して進みなさい

故喜代三儀 本年新盆に相當候 得共時節柄提灯其他供物等一切御辭退 申上候に付豫め得貴意度候也 平町研町十三番地 佐々木喜平

故正男 儀新盆に相當り候得共時節 柄提灯供物其他一切勝手ながら御辭 退申上候 敬具 平町材木町十七番地 藤田儀三郎

貸家 此度裏手に新築移轉する事になりました。就きまし ては従来の店舗をお貸し致しますから、御希望の方は 御來談下さい。如何なる商賣にも適します。 平町四丁目二九 新妻文吾

佛具の御用は... まづ栞屋へ!!! 御位牌 奉仕値大特賣 御位牌類 栞屋家具店 平町二丁目

皆様 今年の元には何品を御撰び になりませうか。 先づこの御家庭様からも喜ばれます 京茶器と銘茶大勝園お撰を び下さい。

茶器 大勝園 壺 金三十八錢より 金三十二錢より 大勝園 電話三九六番

專門 内科一般 住宅診 往診 呼吸器病ばかりではありません 平町南町六五 川井内科診療所 電話一八一番

玉炭 石炭 コークス 阿部石炭商店 電話三七七番

外務社員採用 初任固定給月三十圓 二十五才以上男女を問はず 履歴書携帶左記へ面談。毎日午後 平町田町一七 レストランサロン方 吉田仁三郎 電話三五二番

出炭能率の増進に

郡下各炭礦大努力

支拂で賃銀も益々増加

石城郡下各炭礦は近年になり活況を呈し何れも出炭能率の増加に全力を擧げて居るが内郷村磐城炭礦が去月中採炭夫三千七百名に對して支拂た賃金は九万八千圓に達し前月の支拂額九萬七千圓より既に千圓の増加を示して居り同礦では更に出炭増加を圖る爲め採炭夫の募集が少なく弱つて居る

學部コートに於て開始された第十回北日本中等學校庭球大會に出場した磐中の川隅小川組平商の木田安島組は左の戦績に依り大勝本日

平(木田)	4	1	沼(吉田)	1
商(安島)	4	1	沼(佐々木)	1
中(川隅)	4	0	商(福尾)	0
中(小川)	4	0	商(武山)	0

即賣會を開かず

直接優良品斡旋

郡農會が梨果を取扱ふ

石城郡農會では毎年九月初旬に梨果品評即賣會を催し優良品の供給に努めて居たが出品梨は主に走が多いので割合に品質が落ちるとして評判が悪く共梨の最も成熟した九月中旬頃は東京市場への移出に忙殺されて

引續き行れた大會に臨んだ

一昨年四月新設以來好成绩を収めてゐる磐中作業科は縣より備品購入費として六百圓交附されたので直ちにシヤベル、害虫驅除用噴霧器等を買ひ入れ來學期より三年以下の生徒に使用せしむる事になつたと

作業科に六百圓

縣から磐中に補助交附

即賣會を開催する暇がないので本年度より即賣會を開かず同會が直接に優良品の斡旋に努める計畫である

好問學器購入 石城郡好問小學校では今回千六百圓を投じピアノ二臺を購入すべく目下寄附の募集中である

湯本校の改修工事

石城郡湯本町では工費二萬五千圓を以つて小學校舎の改築工事を十月初旬より着工十二月中に完成の豫定であるが竣功後は五百餘名の收容力がある

邦文と共に英文も

タイプライターを實習

就職成績に鑑みて

赤井信用改善 石城郡赤井村信用購買組合では來る廿六日午後一時より同村第二小學校に於いて役員會を開き事業經營の改善に就いて協議すると

平商業學校では邦文タイプライターを設置し實務教育の充實を計つて以來就職の成績に好影響を及ぼすので此程更らに英文タイプライターを購入し來學期より邦文と共に毎週一定の時間割を制定各學年に對し練習させる事になつた

平百面鏡

七夕風船

五百名に進呈

なかや洋服店で

平三丁目なかや洋服店では明日より二日間舊曆七夕祭に當るので當日夕刻より來店のお子さん連れ五百名には七夕風船を進呈すると

茶器一揃

お盆の贈答用

平町三丁目大勝園ではお盆贈答用の茶器と銘茶を賣出し中であるが茶器は一揃三十八錢より茶は大勝園四半斤函入三十二錢より色々ある

盆が間近

ますやの勉強

二丁目榊屋家具店では盆も間近になつたので佛壇

滿鮮から一筆

釜山公會堂にて伊東一

四月八日大連上陸先づ其埠頭の結構なる事船車連絡の弘壯なる設備真に東洋一と稱へらる往年露國が東洋進出の根據地とせし野望の地丈今日の國際情勢より推して空おそろしく感じられる一步埠頭の

支那には 乞食が多い

支關口に 出すれば市街電車、タクシー、馬車、人力と市内交通の其便宜はやつこしくはあれど我國の都市では見られない情景だ、日本の人力車夫が

タキシードに其生活を追ひ詰めて居るに比較し其國民の(支那人)潛勢力を思ひやられる彼等は一日七錢か十錢で生活し身體健固でよく働らく乞食さいもよく働らく笑ひ事でない

物乞ひばかりはしはせぬごみだめお勝手流し道路にある口に入る何物でも金に替へらる何物でも持つて行く否盗んでまで行くのだ、そして其仕事早い、後で聞

ければモヒ中毒で何時間の後の注射料かせぎだと云ふ、彼等は小供も大人も金になる事は何でもする、彼等はなぐられても頭へ小便をかけられても金にさいなれば悦んで應じる、

日本人は 馬鹿な奴と思ふに反つて彼等は頭をなぐつても手が痛いだらう同じ痛い目してもこちらは金を取つて居る、小便かけられても洗へば元だ。馬鹿はそつちだと云つて居ると云ふ、大連の都市近代的で高層な建物は敢て内地と異らない、大連ばかりぢやない、滿鐵沿線附屬は皆そつち

わけて數百萬圓を投じた大連の 連鎖街は 丁度丸ビルの内部を外向けにした様で各商店會社からカフェーナど揃つて、其美しい賑やかなそして其割にせつこましくない形状は内地では見られない、それは有名なる虎公園日露戦役當時日探の女を露國軍人が喰はせたとか日本軍が來たら虎を檻の外に放す處だつたが間に合はなかつたと云ふ傳説のある公園、それも且に樹木の廣い所の側にある、支那町へはそこを通つて行くのだ、是を一步

碑・佛具等の賣出しを開始したが今年時は時節柄特に大勉強すると

平町 人事

回死 亡

△銀治町七 與吉郎氏二男 佐藤文男(六ツ)

美味!

芳醇!

宗正らひた

山崎合名會社 電話一〇番

美味で!

評判の.....

電 352

イワキ サロン

國体を觀せる

日の丸國旗

祖國愛の觀念を強調

國旗を通じて貴重な國體を凝視しその權威をどこまでも維持發揚して行くことは日本國民の義務であり國旗中心即ち皇室中心に結束することは日本の存立絶對の必要事あるのみならず大義を字内に顯揚せんとするが國本來の大使命に照らしこれまた必致の條件であるに鑑み愛國婦人では

報國運動の第一線として國民に國體觀念を強調すべく國旗の佩用を將勵し

一ヶ十錢をもつて配布して居るが平町民にはまだ佩用せぬ者がおほいやうであるので更に一段と佩用方を將勵することにいたしました希望者は愛國婦人のもとまで申込まれたいと

野營をしなが

自轉車で産業視察

自炊道具の一切を積み

昨日二青年が出發

神谷農事試験分場研究生石城郡渡邊村の蛭田(三)木田(三)の兩君は同村産業組合及び青年團の囑託を受け關東地方を自轉車で産業視察を行ふ爲め昨廿四日朝自炊用具を積んで出發したが廿日間の野營の豫定である

熟眠した

泥酔漢の懷中から

ソツと墓口を抜き取る

石城郡好間村大字北好間字杉平一居住茨城縣助川町生れ廣瀬吉藏(一)假名は去る廿三日午後二時半頃内郷村

字宮内町古谷藤作方軒下に泥酔して熟睡中の湯本町字三國野榮行商人高橋金作の懷中より四圓入墓口を窃取

した事發覺し目下平署で取調中

鐵道自殺

理髮屋の徒弟

石城郡勿來町理髮業小久保茂太郎方雇人渡邊(三)は廿三日午前十一時二十二分茨城縣關本驛を發した列車が勿來驛附近に差掛つた際飛込自殺を遂げた

短氣な女房

子供を連れて逃仕度

警察の御厄介

石城郡湯本町字日渡六十居住濱中勝美の妻トキ(日)は昨廿四日朝些細の事から夫婦喧嘩の揚句憤慨して夫が仕事に出掛不在中長女静江(一)を連れて行衛を晦した

たので勝美は驚き直に平署に捜査方を願ひ出たので早速手配の結果同日午後七時頃泉驛より乗車せんとした處を取押へた

平町の壯丁検査は

愈々明日から二日間

既報去る十八日より平第一小學校講堂に於て開始された本年度壯丁の検査は既に半數を了し平町は明日より二日間執行される筈であるが人員は寄留者五十三名在籍者且四十名計百九十三名である

報なる雑誌を無断で古鍛冶町安藤辯護士外平全市内二戸に配布し代金支拂の強請を行つて居た事を平署で探知し昨廿四日夜同人が驛前伊達屋旅館に森繁と偽名して投宿して居る處を逮捕した

誌代強請

偽名で投宿

熊本市内坪井五七生れ當時住所不定前科一犯森川博(三)は本月初旬より現代時

裁判所だより

△石城郡内郷村大字小島宇新町居住大沼郡本郷町生れ紙屑屋詐欺盗前科五犯宮原信次(日)がインチキ塗料

明日のラジオ

廿六日

今晩も明日、南西の風晴曇半し驟雨模様

今晩の部

後六、〇〇 子供の時間
お話「空を翔る」小川寛爾
後六、二五 傳説と史蹟を
探ねて(十一)「井伊谷官
宗良親王御事蹟の一斑」
山崎常磐
後七、三〇 講演

明日の部

後八、〇〇 新日本音楽
「牡丹燈籠 阿蘭陀萬歳」
四家文子 伴奏 令明音楽
會
後八、三〇 獨唱飯島民子
後八、五〇 浪花節「飯井
亥以」(下)江戸の巻 日
吉川秋水

明日の部

後九、三〇 時報 ニュース
氣象通報 番組預告

後二、〇〇 夏期講習「人形玩具の描き方」(六)西澤
笛畝
後六、〇〇 趣味講座「東
北俳壇瞥見」大橋櫻坡子
後六、二六 傳説と史蹟を
探ねて(十二)「猫島の由
來」副田平治
後七、三〇 「子供の夕」
後九、〇〇 箏曲萩の露
(故幾山檢校曲) 廣岡福
子 鳴原松園

罪金を納めず

刑務所に留置

平檢事局では過般來罰金滯納者の整理をしてゐる事は既報の如くであるが平町大工町高比良勝彌(三)は昨年九月陸軍召集規則違反とし

した事件の公判は本日午前十時より平區裁判所に於て中島判事係り三堀檢事立會の下に開廷され事實問の上檢事より懲役一年求刑されたが判決言渡しは來る二十九日午前九時である

好間村の貧困者

救済を要する者約六百

石城郡好間村役場では此程救済を要する貧困者世帯の調査を行つたが總數百三十八戸、男二百八十八名、女三百九名、合計五百九十七名に達したと

月七圓(大野村某)
△女中 十八才 委細面談(平町某)
△掃除夫 五十迄 衣食外手當給(平町某神職)
△外交員 五十迄 高卒
給料面談(双葉郡某)
△小商店員 十五才 高卒

平職業紹介所報告

△求人を求める方
△女中 三十五迄 尋卒

後〇、〇五 オルガン獨奏「オルガン協奏曲外三曲」ヨセフリンケ
後二、〇〇 夏期講習「人形玩具の描き方」(六)西澤笛畝
後六、〇〇 趣味講座「東北俳壇瞥見」大橋櫻坡子
後六、二六 傳説と史蹟を探ねて(十二)「猫島の由來」副田平治
後七、三〇 「子供の夕」
後九、〇〇 箏曲萩の露(故幾山檢校曲) 廣岡福子 鳴原松園

給料面談(湯本町某)
△事務員 二十三才 乙商卒給料面談(湯本町某)
△料理人 三十一才 尋卒給料面談(茨城縣某)
△女中 十四才 尋卒 給料面談(赤井村某)

花柳外科 門專科
院醫科外村木

自炊入院の便あり
平町五丁目橋際
電話三〇九

市原醫院
平町田町
電話一四番



【禁無斷轉載上演映畫】

寶井馬琴演
山本英春畫

第二十五回 血に飢ゆる村正

師匠の後を追つて

佐「殊に長い刃程斯ういふことがあると折れ易いといふやうな事でもどうも謹むべきものではございませんか……」

春「マア貴所、何が氣に障つたか知りませんがお隣りの旦那を何でそんな手荒い事をなさるんでございませぬ……」

私が出店、本家は外にあるのでございませぬからどうもお助け下さい……ア、恐ろしい目に逢つた、朝飯前から咽喉を締められてお目を頂戴など、來た日には餘り宜いものでない」といひながら咽喉を擦すつて一息吐き

村「何と云ふ、夫ではお前さんの處へ昨夜泊つた老人のお客ハテナ……其のお方はお目元涼しく顔は長い方で人品骨柄威あつて猛けからず白い髯が胸元まで垂れて居て、六十才以上、鎌倉言葉でございませぬらうな……」

佐「ヘエ左様で、其の通りで」

村「物言ふ時に膝へ能く手を置いていふ方でございませうな」

佐「ヘエ其の通りで」

村「眉毛の右の方に黒痣の目立つたのが一つありましたか」

佐「ヘエさう、確にありました」

村「然らばそれが先達て其許にも話を致した、鎌倉表の相模守正宗といふ私の師匠」

佐「ヘエ貴方の御師匠様でございませぬか」

村「傳へ承まはるに當時實龍齋五郎入道正宗と仰せられる由である、それでは妙見山へお登りになると申すのか、春江、留守を頼む」と俄に焦立つた村正、向



とペラ／＼喋り立つた、之を聞くと村正見る／＼間に面の色が變り物をもいはず上總屋佐兵衛の胸倉をムズと掴みて一方の勝れてゐる村正に締められたから佐「ア、痛い／＼是は情ない先生何をなさるんでございませぬ、どうか此處を放して下さい」

村「お前さんは旅籠屋稼業をなさる人と思ひ外以前は何の某しと名前を知られた鍛冶職に違ひない、蔭で聞いて居て人の鍛つたる刀に非を打つ位のお方で見れば正しく由緒ある人と心得たサア拙者の鍛へたる刀に對して長い程折れやすいの瑕が見えるなどといはれては職分として耻入ること、モウ其方を生かして置く譯に相成らん」

と尙も締付けますから佐「マ、マア待つてお呉んなさい、ウツカリ此んなことは云へない、ア、痛い痛

でないから其方へ引込んで居なさい、モウ此の上はど

うあつてもお隣りの御亭主の命は助けん」といふのを漸く其の手を振放して

佐「今のは全く私の心にあつて云つたのではないの

が三才位お師匠様といつたから彼れは弟子に違ひないので、スルと夜半になつて私が油を注ぎに行つたのは私もお客様が大車だから夜中に一廻り火の元用心又男共が女中部屋などへ行つて悪戯でもすやうなこと

があつては大事な人の娘を預つて居る事故そんなことのないやうにと其の邊へ心を注ぎまして屹度夜中に一廻りづゝ見て歩くので私が

お油をつぎに参りましたといつた時にも、白髯の生え

たお方がまだお寝みになり

ませぬので、私に少し話し

があるやうに仰しやるので何ん

でございませぬと聞くと斯々

云々」

品質第一

電話二六八番

平搾乳所

平町・九品寺前

門 專

産科
婦人科
花柳病科

◎入院隨意

井坂醫院

平町田町 電話五五九番

胃腸病藥の王座を占むる純漢法藥

松前



靈効散 (無効返)

金不

ホントに北海道で出來た靈藥が着荷致しました。今迄のは福島市内で製藥したので兎角の批評がありましたが今度のは真正のもので奏効確なものです。服用しなくては其の眞價が判りませんから、皆様見本品を差上げます。御遠慮なくいらつしやつて下さい。見本品でも二日間飲まれますから胃腸に苦しむ方、輕病、心臓、痔疾の方は是非御試し下さい。クセにならず根治致します。小兒用の靈効散も出來ました。

定價
試用分 (八日分) 五十錢
重症用 (四十五日) 貳圓
平町古鍛冶町縣社ノ下
阿康藥舖
電話四四番

販賣部 地方代理店 阿康藥舖 電話四四番

難

内科一般

波

醫學博士 難波陸

平町大町新川端 電話五〇二

醫

院

吉田眼科病院

平町大町新川端 電話六八番